

北海道

どさん子ラウンド

期 日	平成 30 年 11 月 3 日(土)
会 場	北海道札幌北高等学校 彩風館
参加者	小 7 名、中 3 名、高 13 名 大 1 名、行政 4 名、他 1 名
	北海道・東北ネットワーク研究会



平成 30 年度北海道・東北保健・体育ネットワーク研究会「どさん子ラウンド」が北海道札幌市で開催されました。当日は、北海道内から 28 名、岩手県から 1 名の参加があり、各学校種の体育科・保健体育科教育の充実に向けた協議が行われました。

参加者の熱い思いから、11 月にも関わらず珍しく暖かい気候の中、有意義な研鑽の場となりました。

1 説明 1 【国立教育政策研究所教育課程研究センター 高橋 修一 氏】

高橋調査官から「新学習指導要領のポイント」をテーマに、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の在り方、教科等の「見方・考え方」、カリキュラム・マネジメントの充実、育成すべき資質・能力の系統性や重点化などについてお話いただきました。

また、授業の中で運動種目等の知識を理解する際には、運動を支える原理や原則、「何のために」行うのかといった汎用的な知識を関連させて指導することの重要性について説明いただきました。



2 説明 2 【古川 善夫 氏】

古川先生から、御自身が行われている「実生活に生かす体づくり運動」の授業のポイント等について実践事例の報告がありました。

取組の考え方や課題について情報提供をいただき、参加者は、今後の自身の取組の参考とすることができました。



3 ワークショップ

ワークショップでは、校種別の 6 グループに分かれ、概念的知識から単元の指導計画の作成（構造化）を行いました。

解説の例示を具現化するための方法やコツを見直し、往還することにより、何のためにその学習を行うのか（コア・コンセプト）が明確になることについて参加者は体験することができました。

参加者からは、「コア・コンセプトを考えることにより学習活動の目的が明確になるため、ぶれのない指導ができそう」などの感想が寄せられました。

